

## 1-7 緑とオープンスペース

### (1) 緑地の現状

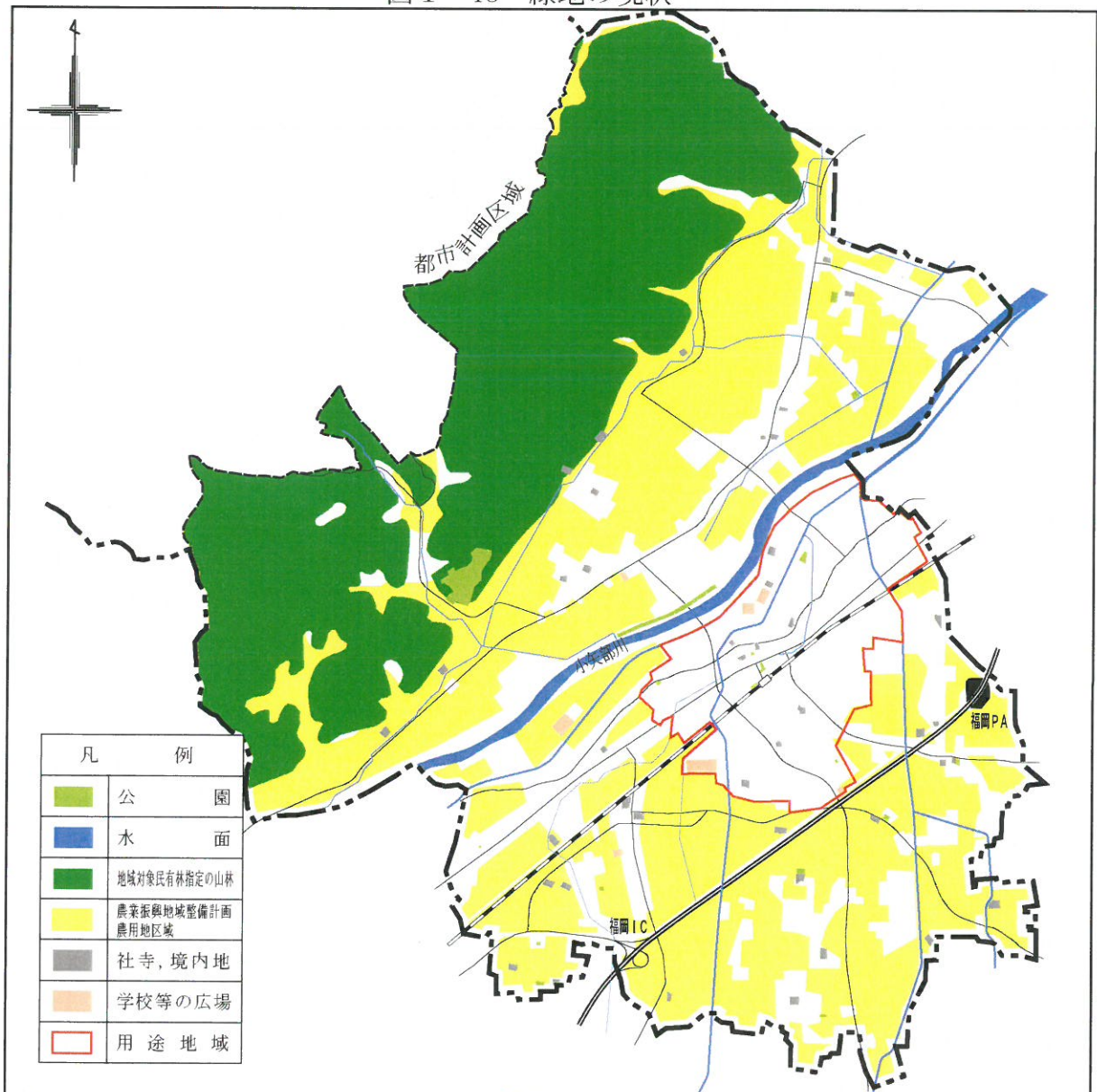
都市計画区域内における緑地の現状は下図に示すとおりとなっている。

地域制緑地としては法により指定されているものがあり、福岡町には北西部に広がる地域対象民有林に指定されている山林と用途地域外の平野部は農業振興地域整備計画の農用地区域がある。

施設緑地としては公園や広場などがあり、町民公園や土屋親水公園など規模の大きな公園の他、各地域に街区公園が立地している。その他施設緑地には学校のグラウンドや社寺の境内林などが見られる。

用途地域内は施設緑地としての公園や社寺の境内林がまばらに立地する他、河川などの水面がある程度で、緑地が少ない状況にある。

図1-18 緑地の現状



## (2) レクリエーション

レクリエーション施設として、下図に示すようなものがある。

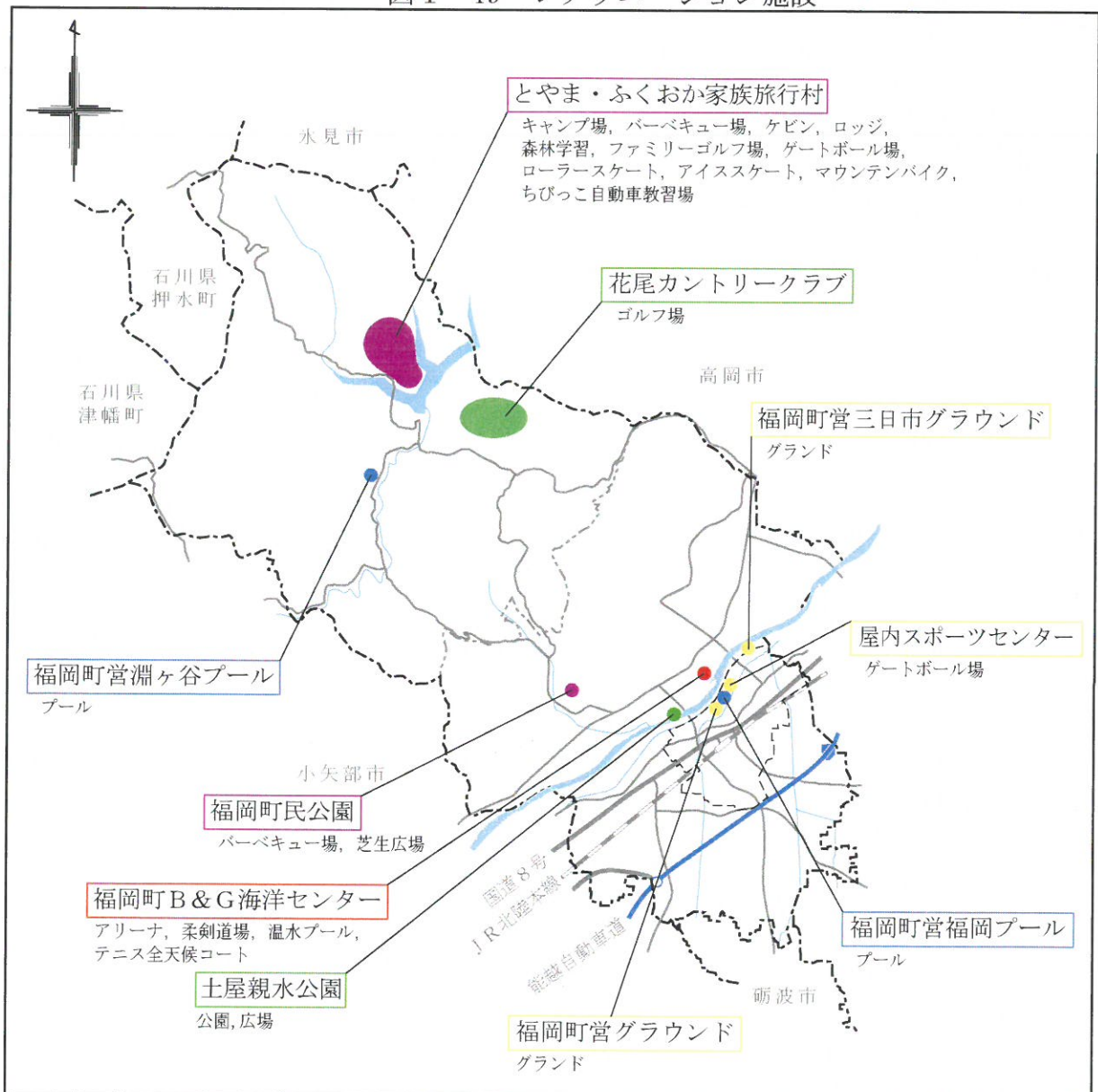
「とやま・ふくおか家族旅行村」は、五位ダム湖畔の豊かな自然の中に、キャンプやバーベキュー、ファミリーゴルフ場など様々な施設がある。冬には屋外スケートリンクでアイススケートも楽しめ、1年を通じて多くの家族連れで賑わっている。

福岡町民公園は、小矢部川左岸の高台にあり、市街地から近いレクリエーション施設である。公園内にはバーベキュー広場や芝生広場、福岡町歴史民俗資料館などがある。

福岡町B&G海洋センターは、体育館、温水プール、室内テニスコートなどを備えており、町内外の人々のレクリエーションの場となっている。

また市街地には、年中ゲートボールが楽しめる全天候型の屋内スポーツセンターが立地している。

図1-19 レクリエーション施設



### (3) オープンスペース

下図は用途地域内におけるオープンスペースを示している。

J R福岡駅前周辺の既成市街地におけるオープンスペースは、建物が密集しているため少なく、建物跡地や大型施設に併設される駐車場が主で、公園は少ない状況となっている。

一方で、用途地域の東側や鉄道より南側の区域では住宅団地などところどころ宅地化されているものの、農地としてのオープンスペースがまともに残っており、まだ市街化が遅れている状況にある。

図1-20 オープンスペース現況



## 1-8 都市施設等

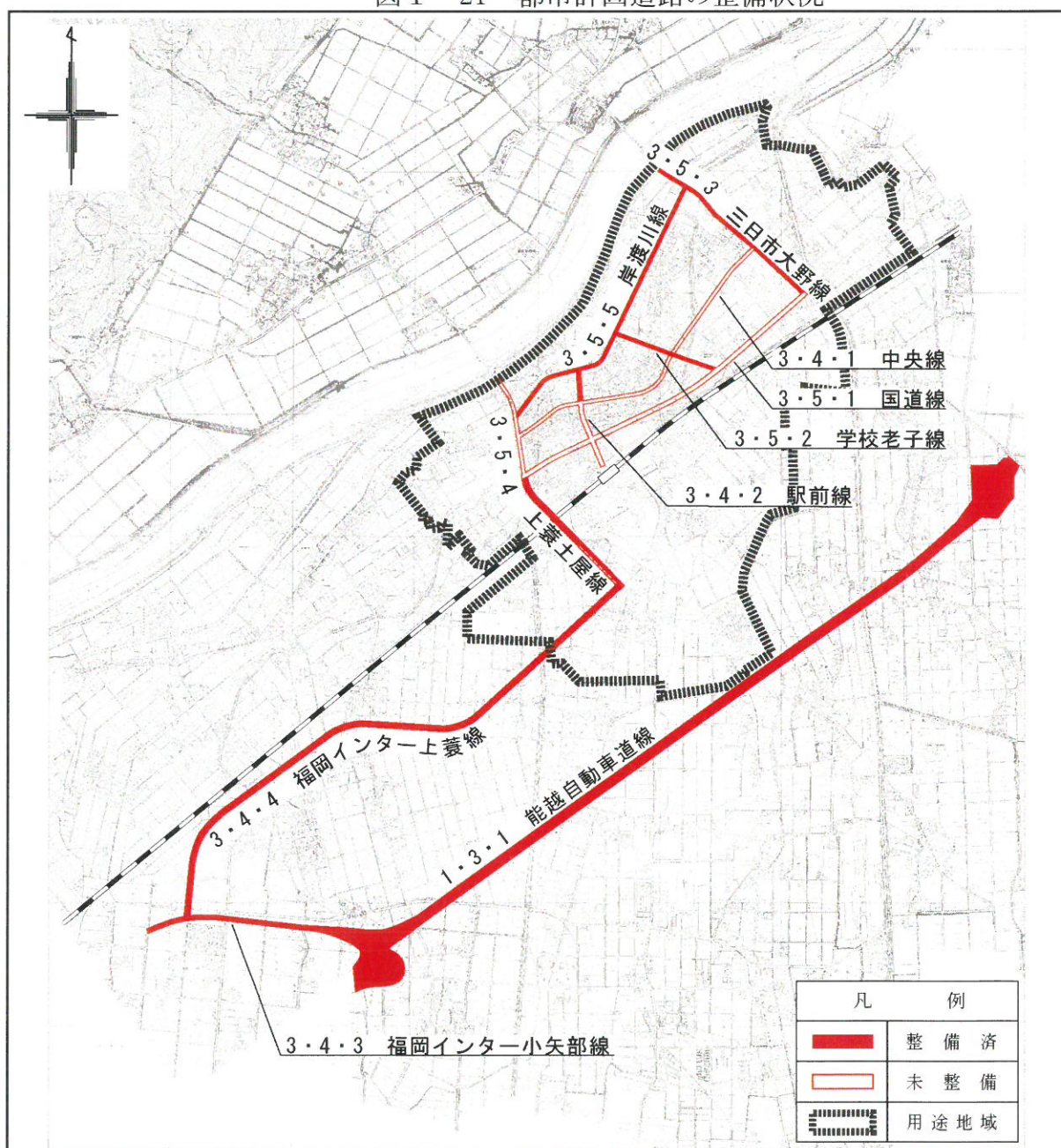
### (1) 都市計画道路

都市計画道路は10路線計画されており、そのうち7路線は用途地域内で、他の路線は福岡ICへの連絡など、能越自動車道関連の路線として計画されている。用途地域の鉄道南側は都市計画決定された路線が少ない状況にある。

既に整備済の路線は(都)三日市大野線, (都)学校老子線, (都)岸渡川線, (都)福岡インター小矢部線, (都)能越自動車道線と新たに整備された(都)福岡インター上蓑線をあわせて6路線となっている。まったく整備されていない路線は(都)中央線と(都)国道線の2路線となっている。(都)上蓑土屋線と(都)駅前線の2路線は一部整備済となっている。

市街地の整備状況は、市街地を南北に通る路線の整備が進み、東西方向を結ぶ路線の整備が遅れている状況となっている。

図1-21 都市計画道路の整備状況



(2) 都市公園緑地

都市公園として街区公園が8箇所、近隣公園, 地区公園, 歴史公園がそれぞれ1箇所ずつあり、その他は都市緑地となっている。そのうち地区公園「福岡町民公園」と都市緑地「土屋親水公園」の2公園は都市計画公園に指定されている。

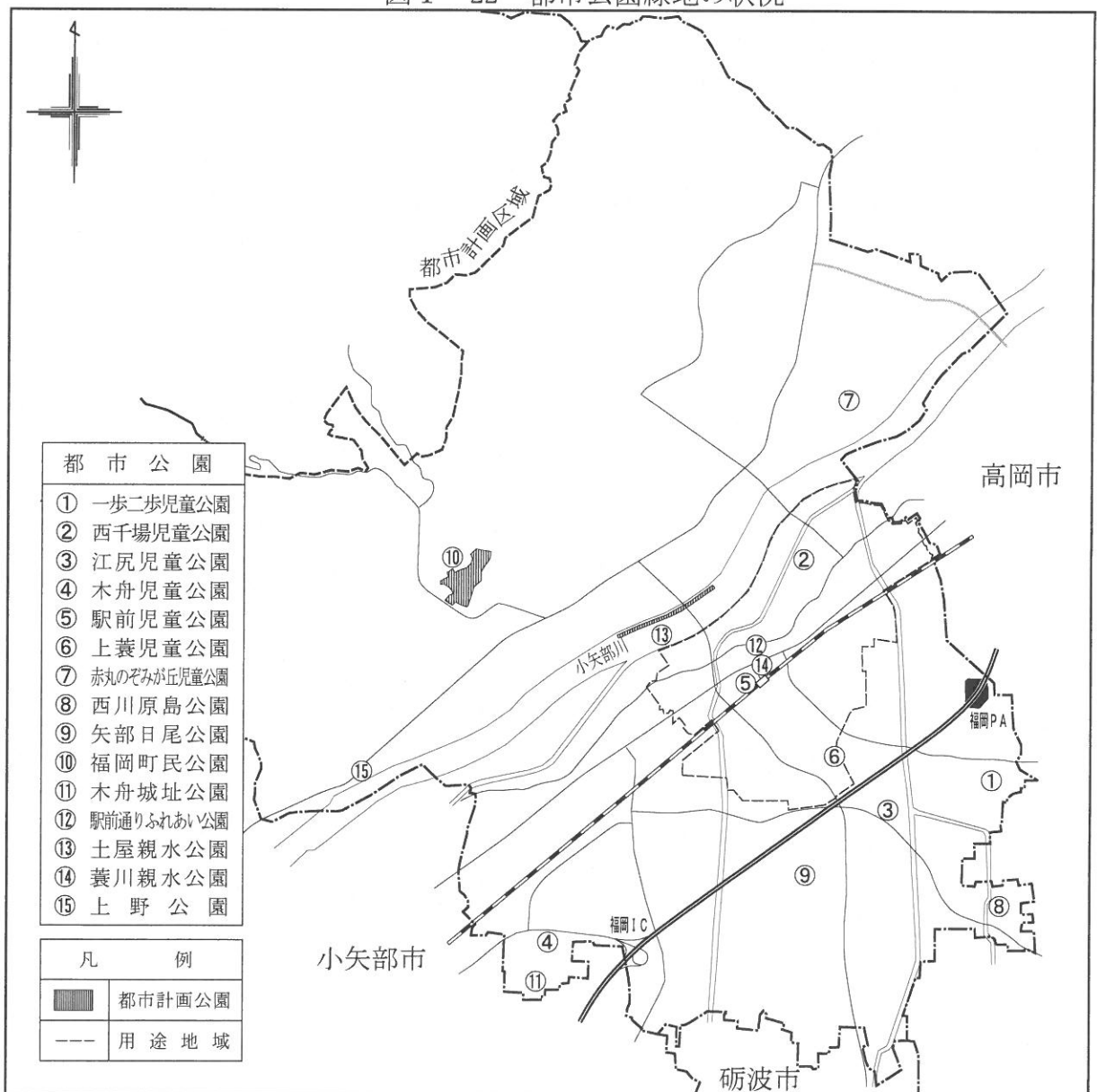
都市計画公園以外のほとんどは住宅団地の一角や市街地の中に立地するもので、0.1haに満たない小規模な公園となっている。

表1-3 都市計画公園の状況

種別	名称	都市計画決定面積	開設済
地区公園	福岡町民公園	8.10ha	6.61ha
街区公園	土屋親水公園	2.50ha	1.90ha
	合計	10.60ha	8.51ha

(資料：福岡町緑の基本計画)

図1-22 都市公園緑地の状況



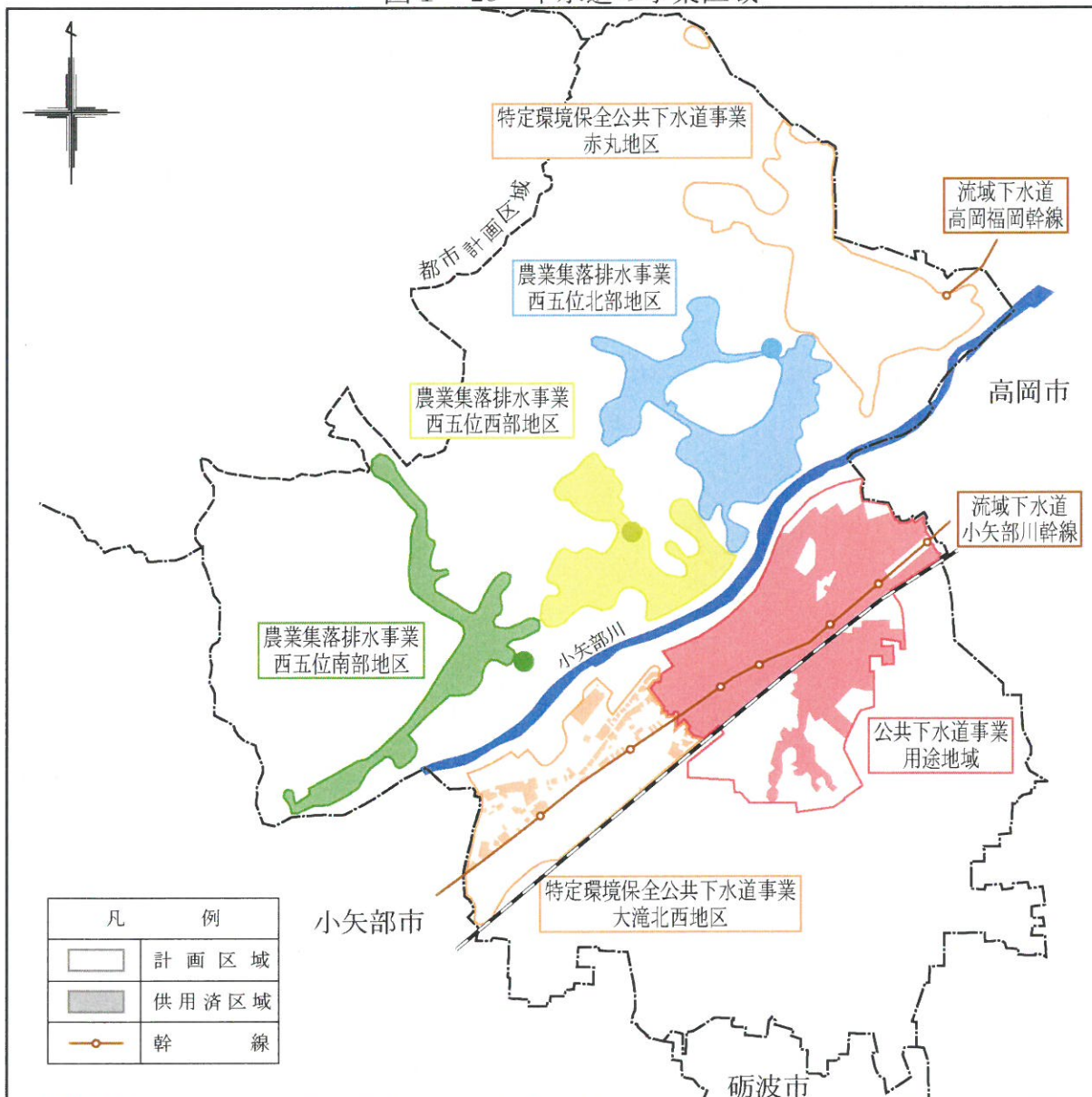
### (3) 下水道

下水道事業の指定状況は下図のとおりであり、下水道の普及を目的に「公共下水道事業」，「特定環境保全公共下水道事業」，「農業集落排水事業」の3事業が計画されている。

用途地域には「公共下水道事業」、大滝地区と赤丸地区には「特定環境保全公共下水道事業」、その他西五位北部地区、西五位西部地区、西五位南部地区には「農業集落排水事業」が計画されている。

整備状況を見ると、小矢部川より北西の農業集落排水事業の3地区は供用済となっているが、公共事業下水道事業や特定環境保全下水道事業の整備が遅れている状況にあり、赤丸地区はまだ未整備となっている。公共下水道事業の整備状況は、鉄道より北側は供用済が多くなっているが、南側は供用済が少ない状況にある。

図1-23 下水道の事業区域



# 1-9 交通体系

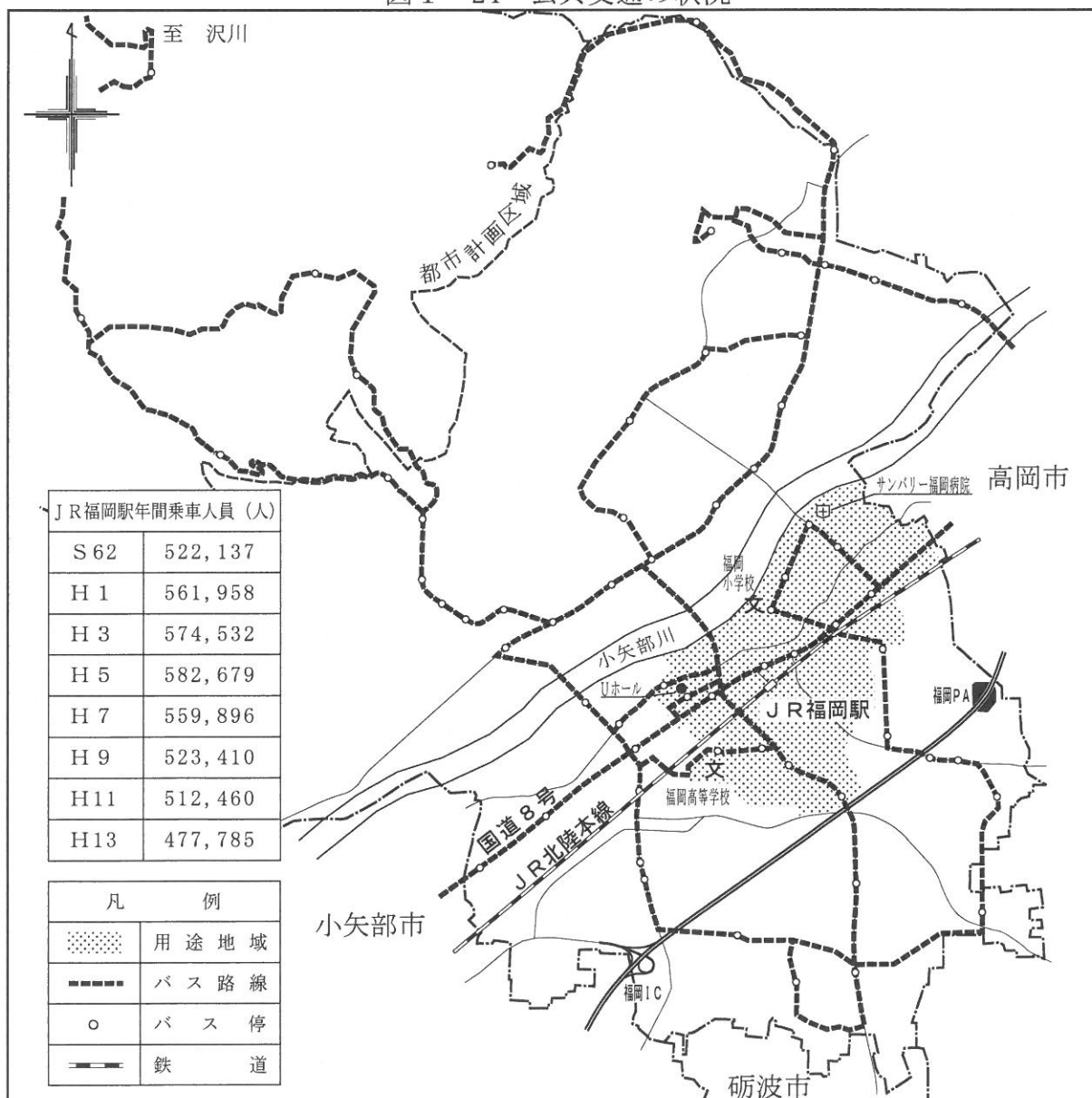
## (1) 公共交通

公共交通機関として本町には鉄道とバスがある。

鉄道はJR北陸本線が通り、東は高岡市、富山市、西は金沢市など主要な都市と結ばれ、通勤通学に利用されるなど地域の最も重要な交通機関の一つとなっている。JR福岡駅の乗車人員は平成5年が最も多く、最近はやや少なくなってきた。

バスは町営6路線、私営1路線の計7路線運行されている。私営は高岡市から国道8号を通り小矢部市へ連絡する路線で、朝夕の通学時は福岡高等学校も連絡している。町営は福岡小学校から市街地を通り農村部の集落を連絡する路線で、下図のように各集落を巡回している。町営バスは病院やUホールなど主要施設を連絡するが、各路線とも1日に4～5本と本数が少ない状況にある。

図1-24 公共交通の状況



## (2) 道路

国道や県道の道路網の状況は下図のとおりとなっている。

国道として国道8号がJ R北陸本線と並行に通り、東は高岡市、富山市、西は小矢部市、金沢市へ連絡する重要な路線となっている。

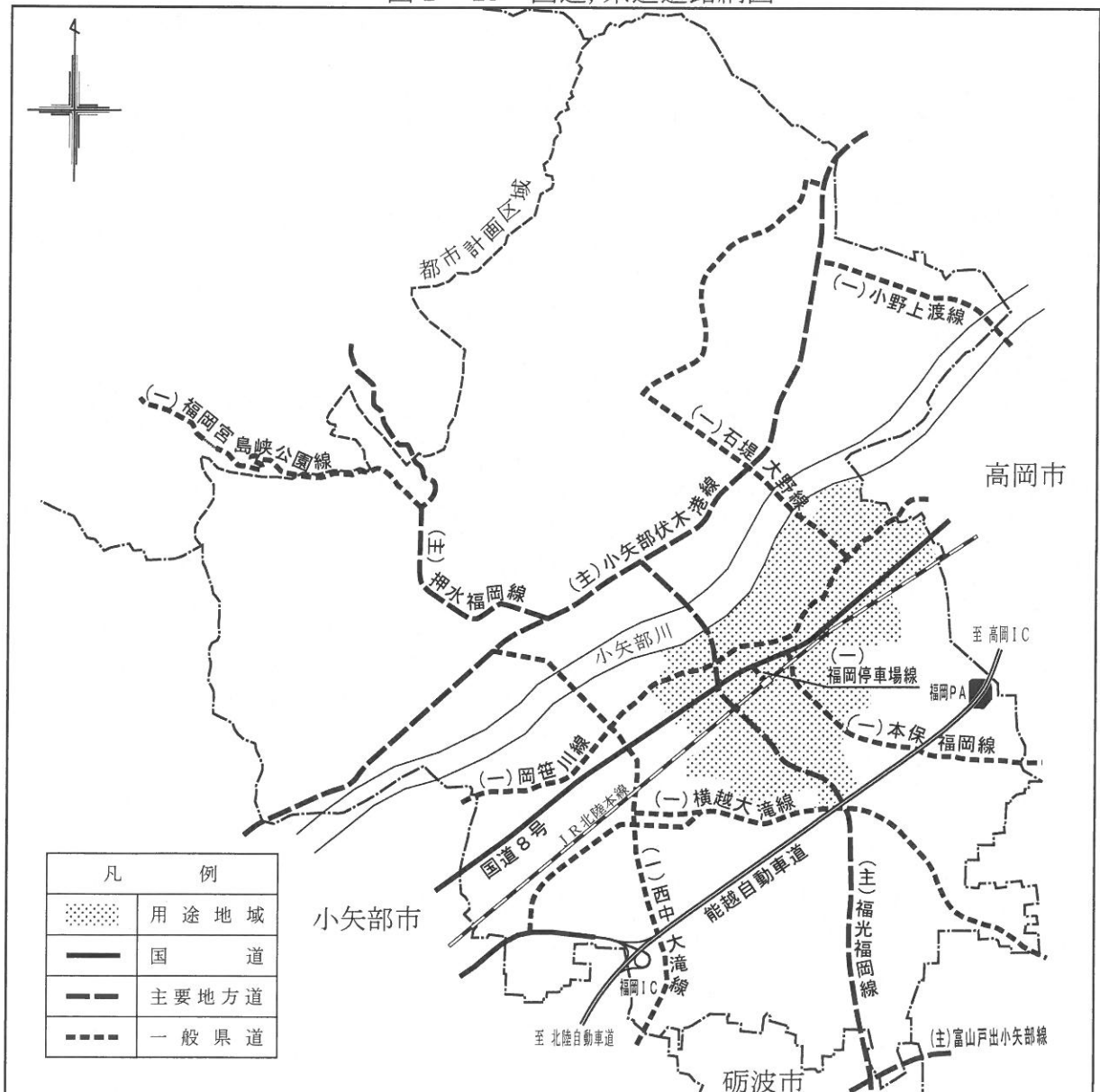
主要地方道としては国道8号と並行に小矢部市左岸を通る(主)小矢部伏木港線、砺波市方面へ連絡する(主)福光福岡線、町北西の山間部へ連絡する(主)押水福岡線が配置されている他、(主)富山戸出小矢部線が町南部の行政界付近を通っている。

その他の一般県道は、町の主要集落を連絡する他、高岡市南部や小矢部市などに連絡している。

町全体の道路形態は国道8号を軸とした梯子型で、J R北陸本線以南は隣接する市へ連絡する放射型の道路となっている。

また本町南部には北陸自動車道に連絡する能越自動車道が通り、小矢部市との境には福岡 I C が配置され、I C と市街地を連絡する道路として(一)横越大滝線の改良整備が進められている。

図1-25 国道, 県道道路網図







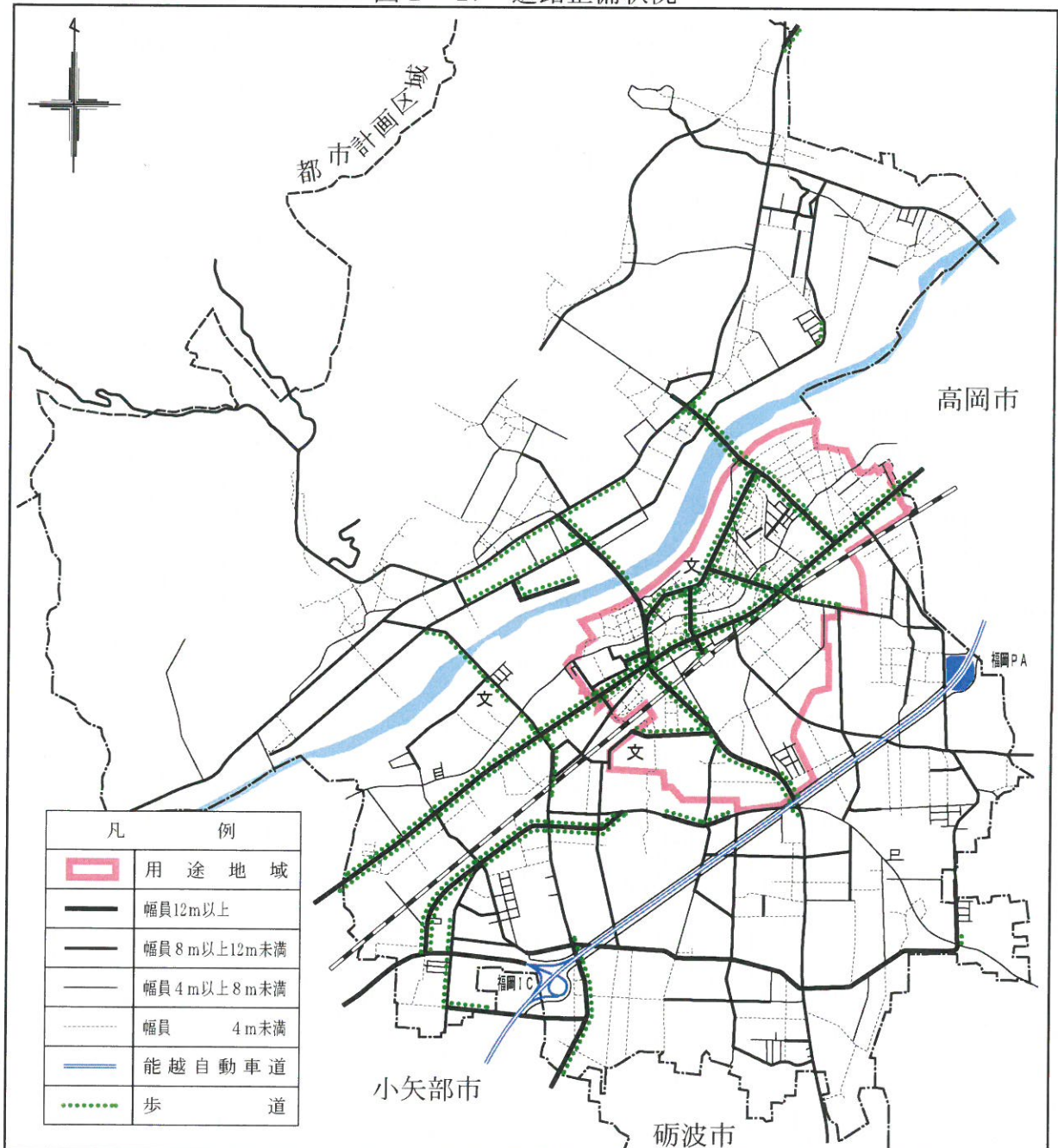
#### (4) 道路整備状況

下図は道路幅員と歩道の整備状況を表したものである。

国道や県道等の主要幹線道路や、都市計画道路のほとんどの路線は幅員8m以上となっており、なかでも最近整備された都市計画道路はすべて12m以上で整備されている。既存市街地や集落内の道路には4m未満の道路が数多く存在しており、自動車どおしのすれ違いが難しく車の利用が不便な地区となっている。

歩道の整備状況を見てみると、主に国道8号や都市計画道路として整備された路線または学校などの施設へ連絡する道路に設置されている。

図1-27 道路整備状況



# 1-10 施設現況

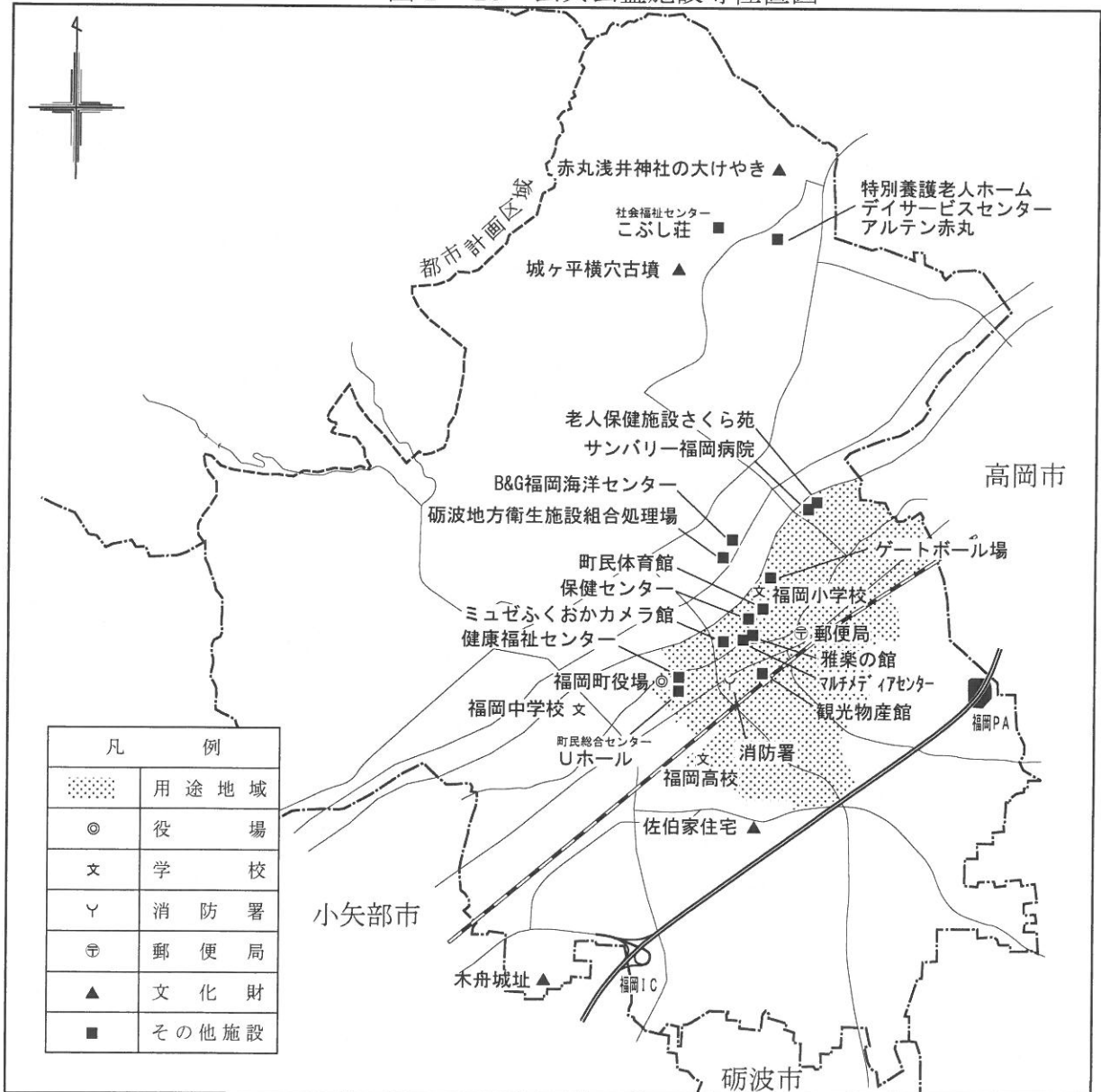
## (1) 公共公益施設等

主な公共公益施設は用途地域内またはその周辺に立地しており、役場と町総合センター「Uホール」は隣接して用途地域西部に位置している。

「Uホール」は平成9年に新設され、アリーナや文化ホール、イベントホール、フィットネスジム、図書館などを備えた総合的複合施設となっている。福岡駅前周辺にはインターネットの利用などが行える「マルチメディアセンター」や文化の拠点施設として整備された「ミュゼふくおかカメラ館」や「雅楽の館」などが整備されるなど、中心市街地活性化事業による取り組みが行われている。

また山間部や市街地の南には国や県指定の文化財が点在しており、中でも「佐伯家住宅」は国の重要文化財に指定されている。

図1-28 公共公益施設等位置図



## (2) 観光

本町では四季を通して多様なイベントが開催されており、主なものとして「リバーサイドフェスタ」、「つくりもんまつり」、「冬のふれあい市」等がある。中でも伝統300余年の「つくりもんまつり」は、全国的にも奇祭として知られており、毎年県内外から多くの観光客が訪れ賑わいを見せている。野菜や果物、草花を利用した趣向を凝らした作品が、市街地の駅前通りや旧街道を中心に展示される。

図1-29 観光



# 1-1-1 アンケートの結果

## (1) 町民意識調査報告書

「町民意識調査報告書」のアンケート結果を抜粋して以下に示す。

- ・ 調査時期 平成 10 年 7 月 1 日～ 7 月 15 日
- ・ 調査対象 満 18 歳以上の男女

### ・ 回収結果

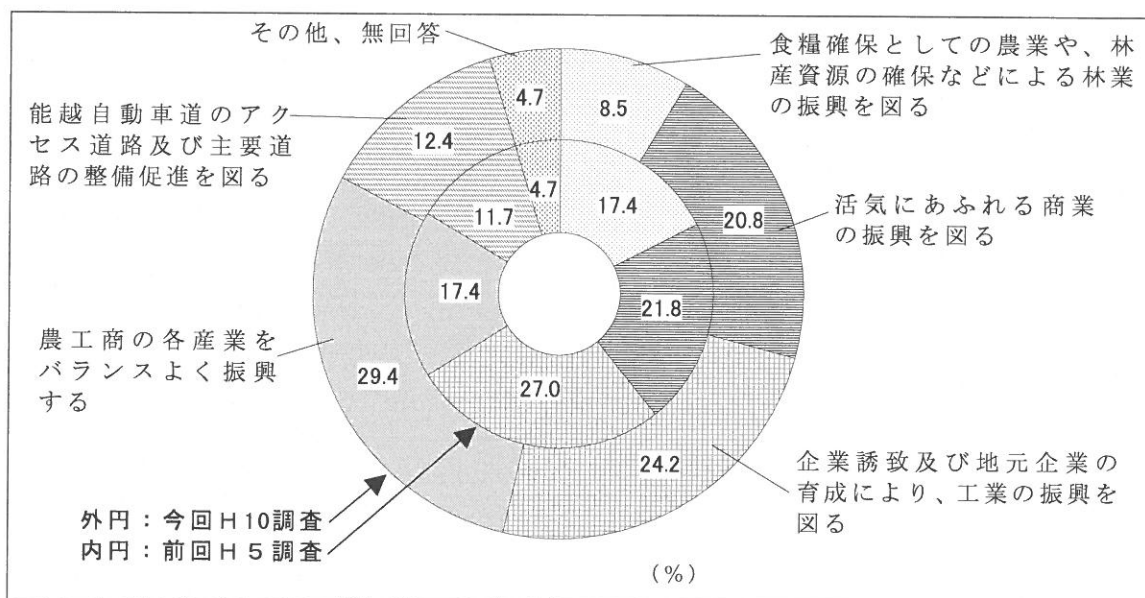
性別

	回答数	構成比 %
男	332	45.5
女	381	53.9
未回答	4	0.6
計	707	100.0

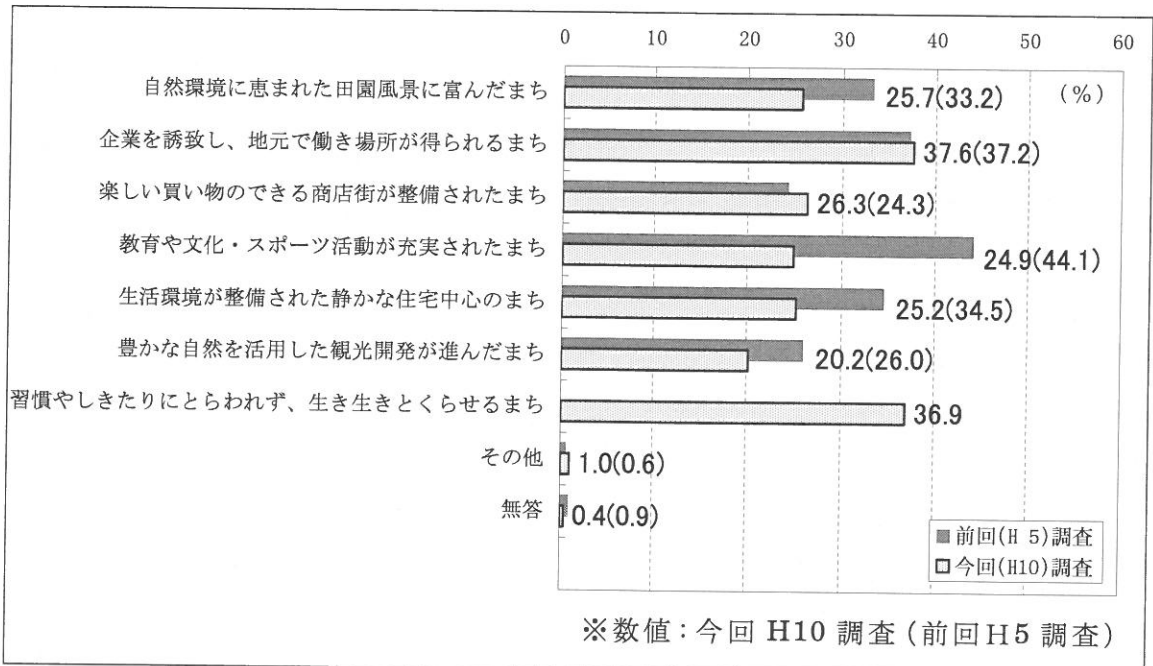
年齢別

	回答数	構成比 %
18～19 歳	23	3.3
20～29 歳	82	11.6
30～39 歳	118	16.7
40～49 歳	140	19.8
50～59 歳	131	18.6
60～69 歳	131	18.5
70 歳以上	78	11.0
未回答	4	0.6
計	707	100.0

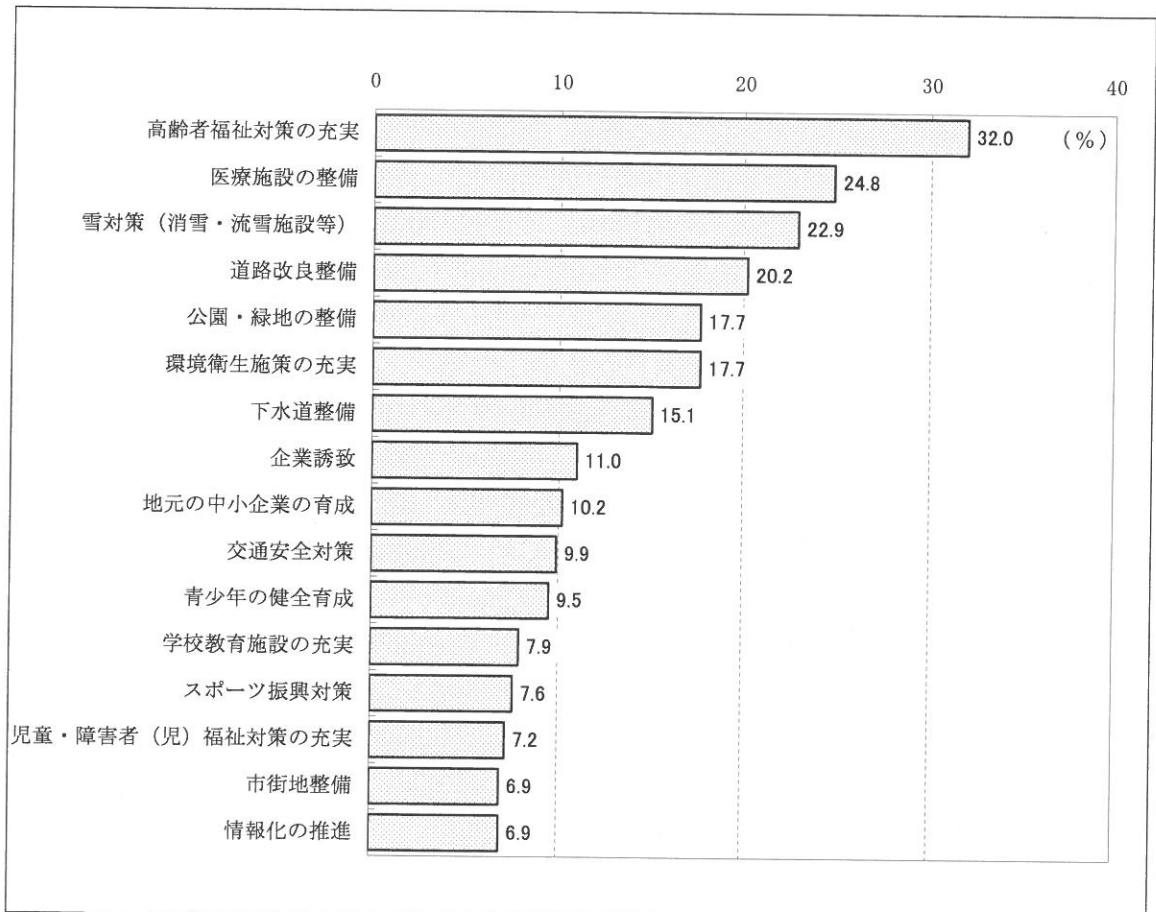
## ○ 産業振興の方向



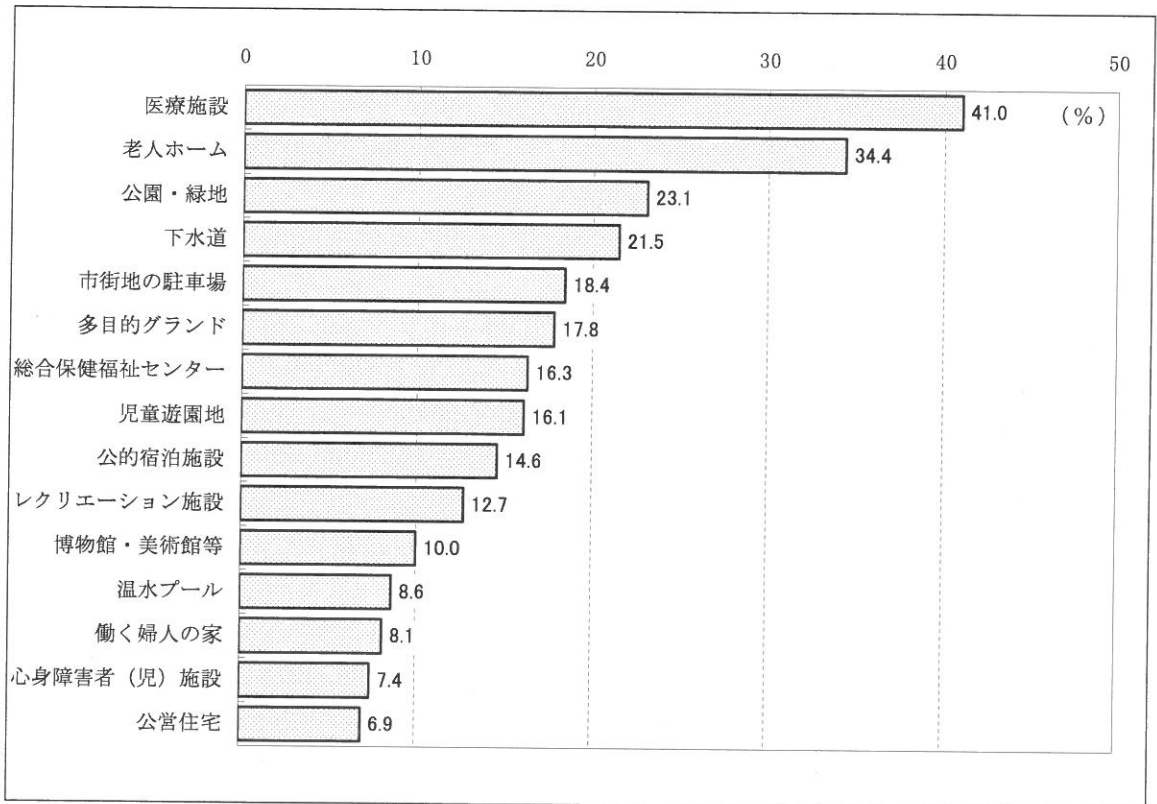
## ○ まちづくりの目標



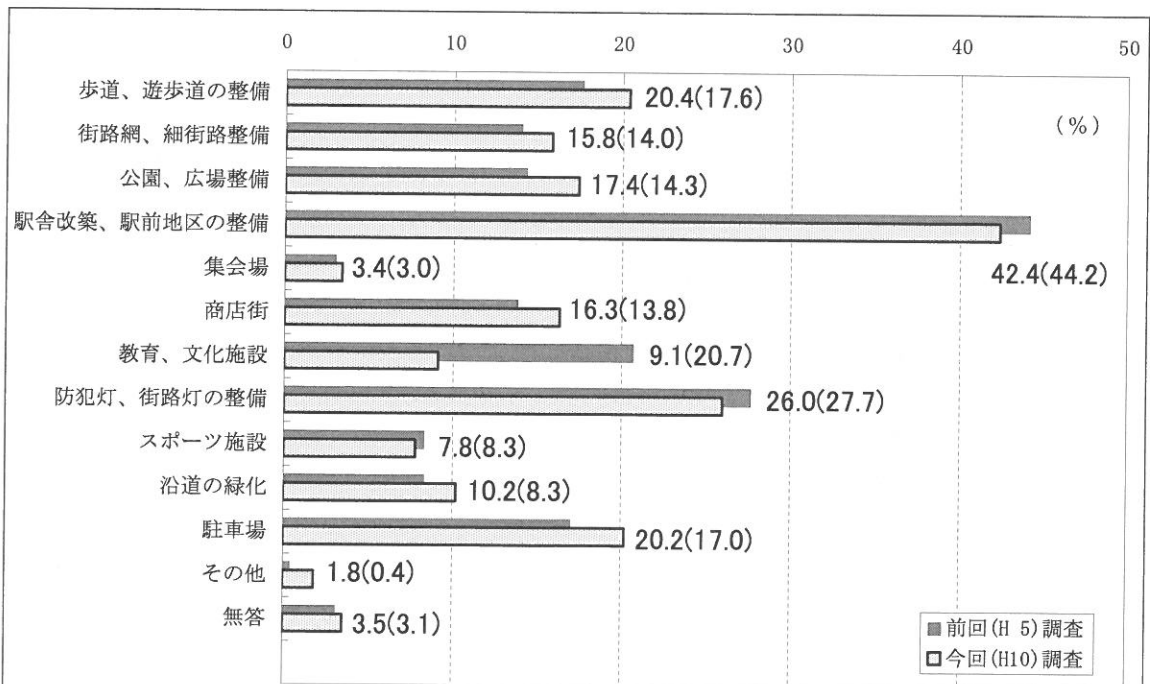
## ○ 町の重点施策



○ 整備が必要な施設



○ 市街地整備に必要な施設



※数値：今回 H10 調査 (前回 H5 調査)

## 1-1-2 現況のまとめ

### (1) 現況のまとめ

表 1-4 現況のまとめ

項 目	
人口世帯数	人口, 世帯数ともに増加 一世帯当り人員の減少し、核家族化が進行
年齢別人口	少子高齢化の進行、若年層の転出, 生産年齢の転入が多い
人口動態	総動態はプラス, 社会動態はプラス, 自然動態は最近マイナスに転じた 高岡市が転出、転入ともに最も多い
地区別人口	小矢部川より南東, 既存市街地で人口密度が高い 既存市街地と小矢部川より北西の地区で人口減少 住宅団地が整備された地区で人口増加している
昼夜間人口	流出が流入より多い つながり強いのは高岡市 「住機能型」の傾向
産業別従業者数	第一次, 第二次産業中心の産業構造
消費動向調査	地元購買率 最寄品は51.3%、準買回品43.3%、買回品18.8%
土地利用	住宅：既存市街地は住宅が密集、市街地郊外はスプロール的に市街化 商業：市街地の商業は個店が多い。国道にはロードサイド店 工業：用途地域南側に立地、農業地に工場がスプロール的に立地
用途地域	商業系は福岡駅前周辺 工業系は鉄道より南側の高岡市側 住居系は商業系用途を囲むように指定され住居専用地域もみられる
法規制	土地利用基本計画において都市地域, 農業地域, 森林地域に分かれている
中心市街地の建物状況	住宅：既成市街地は建物が密集、市街地東側や南側に住宅団地 商業：2つのショッピングセンターと駅前通りや旧街道沿いに小規模な個店 工業：駅南に大規模な工場、その東側に中規模な工場が立地
緑地の状況	農地, 山林が緑地の大部分を占める 市街地内での緑地不足
レクリエーション	山間地にはバーベキュー場やゴルフ場、平野部にはプールやグラウンド
オープンスペース	J R福岡駅前周辺は建物が密集しオープンスペースが少なく、一方で用途地域東側や南側はまとまって農地が残っている
都市計画道路	市街地を東西に通る路線の整備が遅れている
都市公園緑地	都市計画公園以外は0.1ha未満
下水道	公共下水道普及率は23.7%(H10)で遅れている
公共交通	鉄道：J R北陸本線 バス：町営6路線, 私营1路線
道路	自動車道1路線、国道1路線、県道12路線
交通量	交通量が最も多い国道8号で13,626台/12h
道路整備状況	幹線道路の整備が進んでいるが、市街地の道路は狭隘
施設現況	公共施設は市街地周辺に立地、市街地内には中心市街地活性化のための施設が立地
観光	リバーサイドフェスタ、つくりもん祭、冬のふれあい市
アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興方向「農工商の各産業がバランスよく振興する」が多い</li> <li>・まちづくりの目標「企業を誘致し、地元で働き場が得られるまち」が多い</li> <li>・まちの重点施策「高齢者福祉対策」「医療施設」「雪対策」</li> <li>・整備必要な施設「医療施設」「老人ホーム」「公園緑地」</li> <li>・市街地に整備必要「駅舎駅前地区整備」「防犯灯の整備」「歩道遊歩道の整備」「駐車場」</li> </ul>